



平成 28 年 10 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社 フ ジ ト ミ
代 表 者 名 代表取締役社長 細 金 英 光
(J A S D A Q ・ コード 8 7 4 0)
問 合 せ 先 取締役業務本部長 新 堀 博
電 話 0 3 - 4 5 8 9 - 5 5 0 0

平成 29 年 3 月期第 2 四半期 投資有価証券評価損計上に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 29 年 3 月期第 2 四半期において減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じたので、お知らせいたします。

なお、四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理につきましては、洗替え法を採用しているため、平成 29 年度 3 月期の期中または期末の時価により特別損失計上額が変動する場合、もしくは計上しない場合があります。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期における投資有価証券評価損

平成 29 年 3 月期第 2 四半期会計期間（平成 28 年 7 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額 （= A - B）	63 百万円
（A）平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額	63 百万円
（B）平成 29 年 3 月期第 1 四半期会計期間（平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額	－百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、洗替え法を採用しております。

※当社の決算期末は、3 月 31 日です。

2. 今後の見通し等

上記評価損が平成 29 年 3 月期第 2 四半期決算業績に与える影響につきましては現在精査中であり、今後開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします。

なお、当社は的確な予想を行うことが難しいため、平成 29 年 3 月期通期の業績予想は開示せず、四半期毎に迅速に業績速報を開示させていただくこととしております。

以上